

随意契約見直し計画

平成 19 年 12 月
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

1. 随意契約の見直し計画

(1) 平成 18 年度において、締結した随意契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、随意契約によることが真にやむを得ないものを除き、直ちに一般競争入札等に移行するものとし、遅くとも 20 年度から全て一般競争入札等に移行することとした。

【全体】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(億円)	件数	金額(千円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)		/		(1.4%) 3	(0.6%) 13,062
一般競争入札等	競争入札			/	
	企画競争	(0.0%) 0	(0.0%) 0		
随意契約		(100%) 217	(100%) 2,345,399	(11.1%) 24	(41.3%) 970,571
合 計		(100%) 217	(100%) 2,345,399	(100%) 217	(100%) 2,345,399

(注 1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注 2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)				(0.0%)	(0.0%)
				0	0
一般競争入札等	競争入札			(0.0%)	(0.0%)
				0	0
	企画競争	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
		0	0	0	0
随意契約		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
		0	0	0	0
合 計		(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
		0	0	0	0

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等以外の者】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
事務・事業を取り止めたもの (18年度限りのものを含む。)				(1.4%)	(0.6%)
				3	13,062
一般競争入札等	競争入札			(84.8%)	(33.2%)
				184	777,759
	企画競争	(0.0%)	(0.0%)	(2.7%)	(24.9%)
		0	0	6	584,007
随意契約		(100%)	(100%)	(11.1%)	(41.3%)
		217	2,345,399	24	970,571
合 計		(100%)	(100%)	(100%)	(100%)
		217	2,345,399	217	2,345,399

(注1) 見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの

(注2) 金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

2. 随意契約見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み及び移行時期
平成19年12月までに、以下の措置を講じ、平成20年1月以降、順次実施し、随意契約によることが真にやむ得ないもの以外、遅くとも平成20年度から一般競争入札等に移行。

(1) 総合評価方式の導入拡大

- ① 情報システム、公共工事の設計業務等に加え、研究開発、調査研究、広報業務等について、総合評価落札方式による一般競争入札を導入するべく、総合評価方式のガイドラインを策定する。
- ② 総合評価方式による一般競争入札マニュアルの作成
一般競争への移行を支援するための業務マニュアルを作成し、仕様書の作成や予定価格の設定等の各種入札手順を具体的に示す。
(平成20年1月を目途に作成予定)
- ③ プロジェクトチームの設置
上記の措置の措置を行うため、経理財務課にプロジェクトチームを設置

(2) 複数年度契約の拡大

- ① 設備、物品又は情報処理のためのシステム等の調達と不可分な関係にある保守点検業務及びこれに付随する業務に係る契約は、当該保守点検業務等が不可分とならないよう見直しを行なうものとする。当該設備等の調達を行なう際に、保守点検業務等を含めた複数年度契約を結ぶことはできないか、保守点検業務等も評価する総合評価方式による一般競争入札に改めることができないか、等について検討をおこなうものとする。

(3) 入札手続きの効率化

- ① 一般競争入札の拡大に伴う業務量の増加を勘案し、電子入札の拡大や公告の方法等について検討を行う。

(注) 個別の契約の移行時期及び手順については、「随意契約の点検・見直しの状況」に記載

以上